

# 第22回京都大学宇治キャンパス産学交流会

<防災研究所>

日時: 2016年12月6日(火) 14:00~19:00

場所: 連携研究棟(旧巨大災害研究センター)301号室

(第2部懇親会 生協食堂) ※裏面地図参照



今回の産学交流会は、防災研究所の先生方から「地震」と「豪雨」に関する2つのテーマについて御講演いただきます。また、産学連携の関連企業様や会員企業様の取り組みについて御紹介いただきます。

今年4月に発生した、熊本地震や近年の豪雨災害など身近で、大変興味深い内容となっており、どなたでも御参加いただけますのでお気軽にお越しください。

## ◆第1部: 講演会

14:00~17:30

### ◇産学連携事例紹介

「カーナビへの豪雨エリア提供と今後の展望」

一般財団法人 道路交通情報通信システムセンター (VICS センター)

調査研究部 次長 東 俊孝 氏

### ◇会員企業紹介

「京都中央信用金庫の取り組みについて (仮題)」

京都中央信用金庫

営業推進第一部 営業開発課営業支援サポートチーム 業務役 重野 利明 氏

### ◇研究シーズ

「地域の拠点建物の使用継続性を担保する」

京都大学防災研究所

准教授 倉田 真宏 氏

現在の建築基準法は500年に一度の大地震でも建物の倒壊を免れるという立場をとっているが、近年の大地震においては、経済活動や防災の拠点となる建物の使用継続性の重要性が示された。本発表では、拠点建物の使用継続性を向上するために重要な要素を整理しながら、センサを用いた健全性判定や重要機器の耐震性評価等の必要な技術開発について紹介する。

「マルチセンサーを用いた豪雨のフィールド観測と予測」

京都大学防災研究所

准教授 山口 弘誠 氏

ゲリラ豪雨や集中豪雨といった豪雨による災害が頻発しており、積乱雲に関する知見を深めることはいまなお重要な課題である。本発表では、レーダーなど様々な観測測器群を用いたフィールド観測実験から得られた最新の科学的研究成果に触れながら、その成果を防災として社会にどのように還元しているのかについて紹介する。



神戸都市域における豪雨のマルチセンサー観測網

### ◇施設見学

小型Xバンド 二重偏波ドップラ気象レーダーWR-2100 (古野電気社製)

2次元ビデオ式雨滴計 (JOANNEUM 社製)

強震応答・耐震構造実験室

## ◆第2部: 懇親会 (要会費・生協食堂)

17:30~19:00

◆主催: 京都大学・京都大学宇治キャンパス産学交流企業連絡会・京都府中小企業技術センター・(公財)京都産業21

◆共催: 京都やましろ企業オンリーワン倶楽部

# ★参加申込書 (京都府中小企業技術センターけいはんな分室 宛)

第22回京都大学宇治キャンパス産学交流会 (12月6日 (火) 開催)

京都府中小企業技術センターけいはんな分室まで E-mail または、FAX でお申し込み下さい

E-mail: [keihanna@mtc.pref.kyoto.lg.jp](mailto:keihanna@mtc.pref.kyoto.lg.jp)

FAX: 0774-66-7546

☆参加費用：第1部 (講演会) 無料

第2部 (懇親会) 会員 2,000円・会員外 5,000円

申し込み締め切り **12月2日 (金)** (先着60名)

会社名				
所在地	〒			
氏名	所属	電話番号	E-mail	参加 (○印)
				1部・2部
				1部・2部
				1部・2部

※定員を超えた場合のみ連絡します。受付後、特に連絡しませんので当日お越しください。

- ① 総合研究棟 (E棟、S棟)
- ② 境界層風洞実験室
- ③ 風洞実験室
- ④ 地震予知研究センター
- ⑤ 連携研究棟 (旧巨大災害研究センター) → 第1部 講演会場
- ⑥ 強震応答・耐震構造実験室
- ⑦ 鋼構造実大試験架橋
- ⑧ 強震動観測実験場
- ⑨ 自動車車庫
- ⑩ 人為地震発生装置室
- ⑪ 遠心力載荷実験室
- ⑫ 斜面災害研究センター  
UNITWIN本部棟
- ⑬ 工作室
- ⑭ おうぼくプラザ (きはだホール)
- ⑮ 巨大災害研究センター (DRS)

■ 生協食堂 → 第2部 懇親会場

